

議会だより

発行

上峰町議会

〒849-0123

上峰町大字坊所383-1

人口 9,399人 男4,488人

女4,911人

【12月末現在】

平成22年1月28日発行

面積 12.79Km²

☎ 0952 (52) 2181

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株)音成印刷

☎ 0952 (73) 4113



おたっしゃ館 もちつき交流会

平成21年12月定例会

- ◎新年の挨拶 P 2
- ◎議案審議から P 3 ~ 7
- ◎決算特別委員会報告 P 8 ~ 11

- ◎議案賛否表 P12
- ◎平成21年度補正予算 P13
- ◎一般質問 P14 ~ 21

あけまして
おめでとう
ございます



町民の皆様には、輝かしい新年
をお健やかに迎えられましたこ
とを心からお慶び申し上げます。



議長 吉富 隆

議長に就任いたしましたして
早くも三回目の新年を迎え
ることになりました。議会は
町長とともに町を支える
二元代表制の一翼を担って
おり、さまざまな形で町民
ニーズを的確にとらえ、町

政に反映することが必要で
あります。議会の果たす役
割や機能は、一層重要性を
増しており、改めてその責
任を重く感じているところ
でございます。

議会におきましては、町
民の意見の反映や積極的な
情報提供に努めるとともに、
議会の機能強化と町民に開
かれた、より透明性の高い
議会を目指し、議会改革に
取り組んできたところであ
り、今後も多様化する町民
の負託に応えていくため、

さらなる議会の活性化に取
り組んでまいります。

さて、昨年を振り返りま
すと、年初のオバマ米大統
領の就任から始まり、三月
には武蔵町長の就任、国政
では、夏の衆院選での政権
交代、また新内閣の発足に
伴う政策、行政の刷新など
があり大きな節目の年であ
りました。

経済は依然として厳しい
状況が続くなか、政府が無
駄の削減と財源捻出の切り
札と位置づけ実施した事業

仕分けに見られるように、

町も極めて厳しい財政運営
に迫られ、歳入と歳出との
ギャップが大きい現状を踏
まえるに、多くの課題に全
力を注ぎ、住みやすくゆと
りと生きがいのある町を築
いていくため、議会と行政
がそれぞれの役割を十分認
識し、この難極を乗り越え
る必要があることから、今後
とも一層の努力をしたいと
決意を新たにしております。
どうか、議会にこれまで以
上の関心を持っていただき
ますようお願い申し上げます。

年のはじめにあたり、町
民の皆様からの温かいご指
導やご厚情に対し厚く御礼
申し上げますとともに皆様
のご健勝とご活躍を心から
ご祈念いたしまして新年の
挨拶とさせていただきます。



平成二十一年

臨時会 定例会

平成二十一年十一月二十四日に臨時会を開催・第四回定例会を十一月十一日から十一月十八日まで開催しました。六十四号議案から七十八号議案まで、平成二十一年度一般会計補正予算三件、条例改正など十二件、請願報告二件、請願一件、平成二十一年度一般会計歳入・歳出決算認定ほか六件、決算特別委員会報告など二十六案件を慎重に審議し、原案通り承認可決しました。

議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成)

特別職の給与と条例の一部改正

(全員賛成)

上峰町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正

(全員賛成)

上峰町職員の給与に関する条例の一部改正

(全員賛成)

上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

(全員賛成)

右記、五議案はいずれも平成二十一年度の人事院勧告に沿ったもので、議員、特別職等に係る期末手当の支給割合の引下げ、職員の給料の減額改定、期末手当および勤勉手当の支給割合を引下げる内容となっています。

上峰町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の一部改正

(平成二十二年四月一日から平成二十五年三月三十一日)

(賛成七 反対一)

町長の給料に限って支給額を五〇％減額するものです。
審議内容は四〜六ページ参照



上峰町税条例の一部改正

(平成二十二年課税分より適用)

(全員賛成)

軽自動車税の減免規定の改正で、障害者等の減免適用の緩和と手続きの簡素化が図られます。

上峰町保育の実施に関する条例の一部改正

(平成二十二年四月一日施行)

(全員賛成)

町の保育料の徴収標準額を、国の基準額に引上げる内容で、町負担を緩和するため三ヶ年で段階的に引上げられます。

上峰町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

(平成二十二年一月納入期限分より適用)

(全員賛成)

保険料に係る延滞金の軽減期間が三ヶ月に延長されます。

上峰町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(平成二十二年四月一日より)

(全員賛成)

可燃物ごみ指定袋が一枚につき五円値上げとなります。

上峰町長の給料の特例に関する条例

(平成二十二年一月から三月まで)

(賛成七 反対一)

職員の不祥事による管理監督責任のために一〇％減額を三ヶ月間行つものです。

町長答弁に疑問

—各議員再々質問—

給与半減案可決 22年度予算に関連

(議案審議)

新聞記事に対して質問集中



新聞記事

岡議員
十二月八日の新聞報道の中で「財政再建は待ったなし、皆さんにも危機感を共有してもらいたい」との記事はどういうことか。

町長

給与削減案に賛同していただきたいという旨で発言した言葉と思います。

漆原議員

十二月九日の新聞に「否決されれば町民生活に影響が出る」とあるが、どういうことですか。

町長

記事が出ることによっての影響を考えずに発言したのかもしれない。このことは申し訳ないというふうに考えています。

漆原議員

九月議会に提案されなかった時、「来年の三月議会に提案したい」と新聞に出ていたが、十二月議会に出されたのはなぜか。

町長

三月に出すのが適當だと考えていましたが、早い段階で結論ができるという感触を持っていました。



町長給与半減案に質問集中

岡議員

平成二十二年予算算に関連して、町長給与・三役・職員および議員のカットをどのようにとらえていますか。

町長

来年度、四月から実施について、波及・影響あることは私「個人の範囲内」で実施したい。

岡議員

町長給与カットについて答申されたいきさつ内容は

町長

報酬審議委員会に諮問した以上、公正・公平にしていただけのもので理解していません。

岡議員

答申について、「財政状況が極めて危機的状況にあり町民福祉の向上、努めは怠ることができない」といわれ、町長の給与カットの中で「町長に限って」という言葉をなぜ出されましたか。

町長

減給というものは主体性を持ってなすべき性格のものだと思います。波及を懸念し「個人として」提案させていただいている。

岡議員

「町長の給料のみ判断する」他へ波及をさせないと言われていますが、波及しているのは事実です。平成二十二年予算編成は、基本的にゼロベースでいくと言われていますが、審議の中で「議会に対してもお願いしたい」と、今日初めて町長の口から言われました。

岡議員

審議の中で「町長のみカット」と、今回の条例改正の内容から見ても「町長および副町長という形の中で審議すべき」と思っています。

町長

まず、特別職の三役について明確に示す必要があると考えます。

岡議員

減給案について、報酬審議委員会から波及することがないようにと受けていますので、主体性を持って出

していただくことが肝要だと思います。私だけのパフォーマンス的な意味ではなく、今後、主体的に判断される方がいらつしやれば、受けて協力を要請したい。

岡議員

特別職の報酬の取り扱い、平成二十二年予算編成に当たって危機的状況を乗り切るために今後の対応策は。

町長

減給について、私が下げていただきたいとか協力をいただきたいというのは言いません。

井上議員

本当に予算が組めない状態、そういう状態であれば、武廣勇平個人ならいいが、町長ですから、町長は特別職の内容をわかっているわけでしょう。町長、副町長、教育長です。武廣勇平個人とは違つんですよ。町長が五〇%カットした。副町長・教育長が一〇〇%あり得ますか。

町長

あり得るかといえば、ほかの自治体でもあつていることだと理解しています。

井上議員

例えば特別職・町長・副町長・教育長・五〇%削減それから管理職は大体一割程度、職員は五%以上、そういう方向づけに持つていかれるわけですか。

町長

まだ、町長査定を受けていません。これからわかるものだと思います。

予算査定の中でいろんな検討はされますから、こういう検討はしていけないという聖域は設けないつもりです。私は報酬審議委員会等で「波及をつくらない」ことを審議委員会からいただいています。

井上議員

三役が五〇%削減と仮定すれば、教育長の報酬が五〇%カットになれば、大体二十五万円ですね。そうすれば、職員給与はどのレベルの職員ですか。

総務課長

現在、若干ばらつきがありますが、主査か、係長ぐらいのレベルだと思います。

詳しくは議会議事録を

- ・ 役場窓口
- ・ ふるさと学館
- ・ おたつしゃ館
- ・ 町民センター

次ページにつづく

町長は報酬審議会から「他に波及をつくらない」と答申を受けている

町長か？ 武廣勇平 個人か

漆原議員
五〇%削減で大丈夫ですか。

町長
歳入不足が補えるとは思っていません。今後の取り組みを効率的に行えるというふうに理解しています。

岡議員
前回反対した理由をどのようにとらえられているか。

町長
三月定例会の議決は重いということ、波及がかなりあるということです。

原植議員
町の財政が厳しい中、自分だけの給与削減で再建できますか。町長はじめ、職員議員も含め、痛いところは痛いなりに皆で分かち合い、一日も早く財政を再建

するのが大事と考えますが。

町長

六月議会では、報酬審議委員会の答申で他人に波及をさせないことを前提に議論しました。今回、私は個人として減額案を提示しています。

原植議員

平成二十二年度は、ホリカワ産業跡地、広域の負担金など、全てが重くのしかかっています。その中で本当に町長だけの削減でやっていけますか。町長「よろい」を脱いでお互い町の財政再建のため、みんなを取り組みましようよ。

町長

報酬審議委員会の答申を受け、波及がないようにしています。首長みずから姿勢を示すことで、町民への

補助金なども減額でき、財政健全化を強力に進めることができるという考えで提示しています。

松尾議員

行政報告で、「新年度予算編成にかかわる事業の見直し」を文書で各課に指示しているが、特別職の減額・考え方は。また、給与削減



議員の
ぼやき

奇跡が起きないと、可決出来ないような議案を提出する町長。町はどうなるの…



は町長だけでなく全般の中で考えるべきではないか。

北島企画課長

特別職の見直しの検討は指示していません。

後刻訂正

特別職は、五〇%削減、これは町長・副町長・教育長を含め検討を指示しています。

町長

この文書により全課に対し具体的な例を示し見直しの協力要請を行った。

反対討論

松尾 仁議員

質疑の過程で論議を重ねましたが、主な三点について指摘し、反対討論をします。

理由(要約)

第一 財政状況が予想以上に悪化、平成二十二年度は税収約一億円の減、支出は分担金の約三千五百万円増など、全体で約一億円程度の歳入不足が見込まれる。

第二 このための対策として、執行部は十月一日付文書で各課に対し事業の見直しを求め、この中で人件費の削減・特別職三役についても五〇%削減を求めている。

第三 町の財政状況は実質公債費比率・経常収支比率いずれも県下ワーストワンであり、余裕はない。したがって、財政構造自体を改革することが極めて重要であり、町長給料五〇%削減も特別職三役・職員給料削減のなかで、検討されるべきものと考ええる。

賛成討論

原植 和彦議員

六月議会で議決権・他への波及ということで反対の立場をとりましたが、来年度の予算編成を見込んで賛成討論をします。

この件は、議案審議の中で財政再建に向け、町長一人ではなく、みんなが負担を分かち合いながらやりましょうとの意見も多数ありました。その中で、町長がかたくなに私一人だと固辞されることに、平成二十二年度の予算が本当に組めるの心配でした。

報酬審議委員会など参考になされて、やはり私一人でやるんだという町長には町長なりの考えがあるものだと判断し、職員給与のこれ以上の削減はないものと判断します。特別職も考えていないということですので、認めて、あと財政がないときは、町長みずから身を削って下さい。それぐらいの覚悟でやっておられることだと思いますので、賛成させていただきます。

町長給与半減案 賛成多数で可決

請願審査報告

八枚地区駐車場整備について

(全員賛成)

振興常任委員会

委員長 矢動丸 博文

審査結果

採択とする

主な意見

地元と協議を行い、極力経費を節約できる工法で施工をすること。



請願

排水路整備について

(全員賛成)

紹介議員

松田 俊和

請願者

寺家一区长

松田 邦義

寺家二区长

松田 幹雄

下米多区长

坂井 保夫

寺家一土地改良事業委員長

古賀 常木

寺家二土地改良事業委員長

鶴田 新

下米多土地改良事業委員長

松田 弘

寺家一生産組合理長

大石 彦志

寺家二生産組合理長

鶴田 清隆

下米多生産組合理長

松田 一馬

以上、第四回定例議会において、振興常任委員会に付託された。

からつ競艇場外舟券発売場「ポトピアみやき」建設に関する請願

(全員賛成)

総務厚生常任委員会

委員長 井上 正宣

審査結果

採択とする

主な意見

町執行部を窓口としてウエルビジョン九州の調査を要請していく。

上峰町議会議長
吉富 隆様

決算特別委員会審査報告書

(全員賛成)

決算特別委員会

委員長 岡 光廣

平成二十一年十二月十八日

平成二十一年九月十七日の本議会において、本委員会に付託された議案第五十五号平成二十年度上峰町一般会計歳入歳出決算、議案第五十六号平成二十年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算、議案第五十七号平成二十年度上峰町老人保健特別会計歳入歳出決算、議案第五十八号平成二十年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、議案第五十九号平成二十年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算、議案第六十号平成二十年度上峰町工業用地取得造成分譲特別会計歳入歳出決算、議案第六十一号平成二十年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算、以上七議案の決算認定について去る十月二十一日、二十三日、二十六日、二十七日、十一月十九日の五日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見書及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め賛成多数をもって認定すべきものと決定いたしました。

次に審査の過程での意見及び要望等については以下のとおりです。

(主な少数意見)

町税の不納欠損処理にからむ内容確認のため、自治法第九十八条の一項により資料提出を求めたが拒否。
また、普通財産の譲渡・交換・無償貸与に関連して処理方法について意見がありました。

一般会計

(歳入について)

総務課

問 交通安全対策特別交付金の配分基礎について説明願いたい。

答 交通安全のための施設整備などを目的として、佐賀県より市町に交付されています。配分は、交通事故などの多少などが基準となっています。

問 消防団退職報償金は、当初予算に計上すべきではないか。

答 消防団員の入退団確定は年度末にまとめており、当初予算への計上は時期的に無理がありますが、退団者への報償金の支払いを早期にするために努力していきます。

企画課

問 国有提供施設所在市町村助成交付金の算定基礎には、ヘリコプターの発着回数も算定基礎となるよう働きかけをすべき。

答 総務大臣および県選出の衆参国会議員各位に対し、吉野ヶ里町と連名で要望書を十一月に提出しました。

税務課

問 町税の不納欠損額が〇円となっているが、税法上徴収できない時効の税金については、不納欠損とすべきではないか。

答 また、不納欠損については極力発生しないよう注意し、差押えを行うなど努力された。平成二十一年度決算で発生した不納欠損額は、平成二十

一年度発生する分と併せて不納欠損の処理を平成二十一年度末にさせていただき、滞納者へは時効になる前に徴収を強化し、誓約書や差押えの対策を図っていきます。

問 徴収率は、一〇〇%へ近づくように努力されたい。

答 現年分はもちろんです。滞納繰越分の徴収を更に強化し、目標値として頑張ります。

問 徴収業務の充実のため、職員を増員すべきではないか。

答 行政改革の中で、徴収部門設置の実現に向けて、努力します。

住民課

問 母子家庭等医療費補助金が多くなっている理由を説明願いたい。

答 対象者の増と一人当りの医療費増が原因。

問 資源ゴミ回収の金額は、いくらなのか説明願いたい。

答 また、地区でも行っているので庁舎前の回収については、どのように考えているか説明願いたい。

答 資源ゴミの収入は平成二十年度八百二十九万五千円で、庁舎前については平成二十二年九月末をもって閉鎖予定。

建設課

問 住宅使用料の収入未済額が、平成十九年度より増加している。条例に基づき、保証人への催告や住宅の明け渡し請求など、収納対策に万全を期してもらいたい。

答 平成二十年度は明渡し請求四件、不誠意滞納者一件に対して明渡しを行いました。

町営住宅使用料滞納者に対しては、今後も条例・施行規則および町営住宅家賃等滞納整理事務処理要綱により収納対策に努めます。

産業商工課

問 新たな米政策対策事業補助金を説明願いたい。

答 大規模農家緊急育成事業として、認定農業者が農地取得、または、賃借権を設定して経営規模を拡大する場合には、拡大分について助成金を交付する事業です。対象人員は四名。(補助率二分の一以内)

教育課

問 学校給食費徴収金(過年度分)二百六万千六百円は、不納欠損とならないよう努力をし、行方不明などやむを得ない事情のものについては、不納欠損として処理すべき。

答 町在住者は毎月の支払日を決め訪問徴収を実施しています。また、やむを得ない事情のものには不納欠損を考えています。



学校給食

問 平成二十年度フツ素応用虫歯事業費補助金については、事業中止となっているが、保護者の要望も多いので、町単独でも実施すべき。

答 町単独で実施していません。

生涯学習課

問 小学校夜間照明施設の改修状況を説明願いたい。

答 平成二十一年九月三十日に施設の劣化状況の報告を受け、補強工事は可能であるとの調査報告でした。

問 町民センターの利用料金増収について説明願いたい。

答 平成二十年度は、町民センターのホール利用が前年度に比べ増加したのが、増収につながりました。

(歳出について)

総務課

問 光熱水費・消耗品費など過去の決算と比べて、節約の意識がないように思われる。節減に努力すべき。

答 行政経費の効率化に努めています。さらに無駄を省き効率化に徹し、節約に努力していきます。

問 備品については、必要になった時点で購入すること。

答 備品購入は、その必要性、緊急性を検討し、経費削減に繋がる手段に徹していきます。

問 消防車両の買い換えは、補助金などを利用して取り組むこと。

答 消防車両は高額な費用がかかるため、車両の選定、補助率の大小を充分調査の上取り組みたい。

企画課

問 中学生の国際交流は、現在の形態で取り組みを続けるべき。

答 豊かな国際感覚を養うために継続したい。



国際交流

問 庁舎内の分煙室の設置を検討願いたい。

答 健康増進法の趣旨を尊重し、喫煙場所を庁舎外としていきます。

税務課

問 徴税嘱託員はどのような報酬基準となっていて、その効果はどの程度か説明願いたい。

答 月額の基本給に加えて、歩合制として徴収金額に率現年額二・五%、過年分五・五%を乗じての支給をしております。効果は平成二十年度八百一十二千七百四十円の徴収実績です。

住民課

問 三養基西部葬祭組合の火葬料金は、見直しを求める。

答 組合議会に火葬料金の見直しの要請を行います。

問 資源ゴミの回収については、費用対効果を考えて実施すべき。

答 資源ごみの回収は経費削減となる手法を今後検討します。

問 生ごみを減らす方策を検討したい。

答 広報誌にて啓蒙を行います。



資源ごみ回収

健康増進課

問 健康で受診しなくて済むような、未病対策を実施すべき。

答 主要死因であるがんの早期発見・治療のため、がん検診の受診者が増加するよう、受診勧奨の方法を検討し、受診しやすい環境づくり、ならびに精密健康診査の受診勧奨を行います。

教育課

問 学校管理費の消耗品費・光熱水費などは、なお一層の節減に努力されたい。

答 小・中学校とも学校に伴うあらゆる経費について節減をお願いしています。

生涯学習課

問 鎮西山キャンプ場については、廃止の方向で検討されたい。

答 廃止となれば補助金の交付を受け整備しているため、補助金返還が生じますので平成二十年度より鎮西山キャンプ場を休場としています。

子ども安全課

問 放課後児童対策事業の賃金については、他の賃金との整合性を図ること。

答 日々雇用賃金をベースに算定改訂したい。



上峰児童クラブ

福祉課

問 社会福祉協議会への補助金は、削減できるところは、実施をすべき。

答 精査して実施する方向で行いたい。

問 長寿祝い金は、現役並みの収入がある人には、支給をやめてもいいのではないか。

答 祝金の趣旨からして、所得制限を設けることは、なじまないと考えます。



社会福祉協議会（おたっしゃ館）

産業商工課

問 三養基西部土地改良区補助金は、事業維持管理業務のみなので検討すべき。

答 補助金は、毎年度カットをしています。



税務課



健康診断

土地取得特別会計

問 土地開発基金の基金額は、改正をすべき。

答 改正手続きおよび改正による影響を研究中です。

農業集落排水特別会計

問 維持管理費は、使用料で賄えるように努力されたい。

答 使用料は、現行の算定方法から水道使用量換算に替えていきたい。

国民健康保険特別会計

問 医療費の軽減になるよう、各種の検診を推進し疾病予防に努力したい。

答 特定健康診査および特定保健指導を実施し、主に糖尿病の予防を主眼として、早期に介入し、医療費の抑制に努めています。

問 使用料見直しは、平成二十二年度に反映されるよう努力されたい。

答 事業所の使用料見直しを行い、平成二十二年度に反映させていきたい。

問 短期保険証の交付要件を設定すべき。

答 国保税の滞納者につきましては、「上峰町国民健康保険期限付被保険者証交付事務取扱要領」により短期保険証の交付を行っています。

問 国保税の収納率の向上に努力されたい。

答 短期証交付の折に税務課とともに納税相談を実施しています。また、国保税の賦課徴収を行っている税務課において、一名の徴収嘱託員を雇用し、休日・夜間を問わず徴収を行っています。



坊所処理区

平成21年 第4回臨時会・定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			松田俊和	原楨和彦	松尾仁	漆原悦子	中山五雄	矢動丸博文	井上正宣	伊東盛雄	岡光廣
55	平成20年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
56	平成20年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
57	平成20年度上峰町老人保健特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
58	平成20年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
59	平成20年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
60	平成20年度上峰町工業用地取得造成分譲特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
61	平成20年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○
64	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	特別職の給与と条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	上峰町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成21年度上峰町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
70	平成21年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
71	平成21年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
72	上峰町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	-	○	○	○
73	上峰町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
74	上峰町保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
75	上峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
76	上峰町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
77	鳥栖地区広域市町村圏組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
78	上峰町長の給料の特例に関する条例	可決	○	○	×	○	○	-	○	○	○
—	八枚地区駐車場整備について	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
—	からつ競艇場外舟券発売場「ミニボートピアみやぎ」建設に関する請願について	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○
—	決算特別委員会審査報告について	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○は賛成 ×は反対 -は欠席

討
論
採
決

一般会計

21,003千円増額して
総額32億86,631千円となる
 補正予算の主なものは…

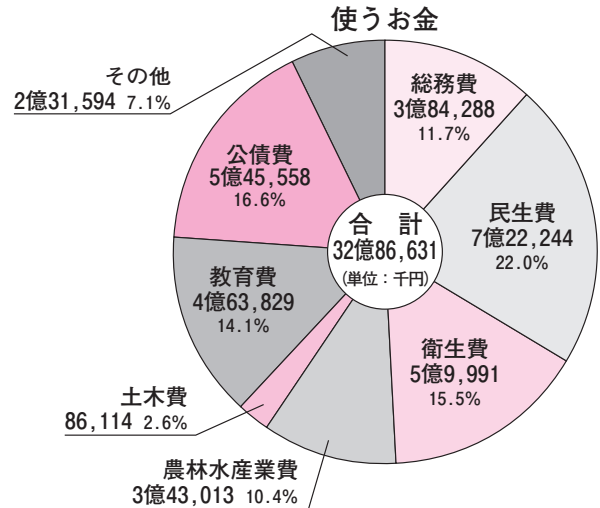
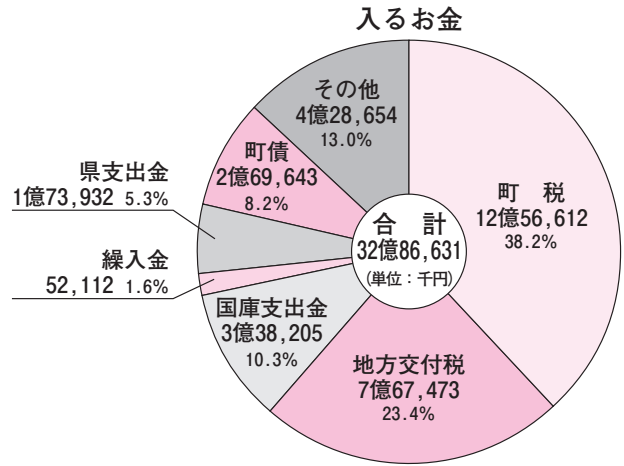
歳入

- ◎国庫支出金 …………… 6,551千円
- ◎県支出金……………12,014千円
- ◎町債 …………… 1,900千円
- ◎その他 …………… 538千円

歳出

- ◎民生費……………16,665千円
- ◎衛生費 …………… 366千円
- ◎土木費 …………… 2,509千円
- ◎消防費 …………… 3,257千円
- ◎災害復旧費……………10,237千円
- ◎その他……………△12,031千円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
 ※国・県支出金は補助金です。

主な歳出補正予算

(人件費を除く)

- 財政調整基金積立金 …………… 4,611千円
- 福祉施設スプリンクラー整備補助…4,500千円
- 私立保育園運営費補助……………26,235千円
- 新型インフルエンザ予防接種助成… 2,765千円
- 防災情報通信設備整備工事費…3,000千円
- 河川災害復旧工事費 …………… 8,237千円

特別会計

国民健康保険特別会計

18,505千円を増額し、9億46,647千円となる

農業集落排水特別会計

729千円を増額し、5億60,694千円となる



そこが聞きたい



中山 五雄 議員

場外舟券発売場について、その後の進捗状況は

答 公文書でだしましたが、説明はなかった。

この舟券発売場は夜九時まで営業されており大変車の出入りが多いということは事故が起きる可能性も高

議員
上峰町に同意どころか説明もないまま十一月十四日オープンされたが、ウエルビジョン九州は道義的に上峰町側に説明するべきと思う。また、上峰町側から同意書に印を押した者はいないのか。
武廣町長
公文書で今回出しましたが説明はなかった。同意書に判を押したということには承知しておりません。



ボートピア場外売場より県道への出入口

議員
ホリカワ金属跡地二億七千万円の起債がある。この

財政の健全化に向けての改革は

いし、また、負けた腹いせに事件などが起きなければ良いかと住民の方達が心配されています。住民の生活を守るのが行政のトップである町長と我々議員の務めではないかと思うが。
武廣町長
住民の生活を守るのが町長としての責務と思っています。環境委員会に強く要望していきたいと思えます。



広域ゴミ処理場

起債を平成二十三年三月末までに返済しなくてはならないがどうやって返すのか、それとも借換えができるのか。
北島企画課長
安定した収支バランス確保のため、人件費を含めた歳出カットと、あらゆる歳入確保の取り組みが必要。
武廣町長
借換えをしなければと考え働きかけている所ですが、いまだにめどが立っていません。

一市二町で申し出が出ていると聞いている。負担金が三千数百万円増えるが町長の考えを。
武廣町長
これ以上の負担はできない。強く要望していきます。
議員
アンケートはいつ取るのか。
武廣町長
合併特例法の期限にとらわれず、じっくり腰を据えた取り組みを考えています。

合併について

中一ギャップについて

答 習熟度をはかり基礎的なものを身につけたい



伊東 盛雄 議員

も高度化すること。そういったものにつまずきやすく、あるいは定期テストや実力テストそういったものが小学校とは違ったテストに、本人自体に心理的負担を感じさせて、中学校における人間関係の多様化などにより精神的不安定になることよって中一ギャップというのは全国レベルで問題視されているところだと思います。

町につきましても、そのこととは否めない事実であります。授業の中の終わりに教師が逐一不十分な子供については、マンツーマンで指導したりあるいは帰りにドリルを与えたり、翌日の授業でそのドリルの成果を求めたりしながら個々のレベルアップを図るようになっています。

議員
町で不登校、学級崩壊はありませんか。

大隈教育課長

中学校には不登校が六名いますが中一ギャップによるものとは考えていません。

吉田教育長

小学六年生と中学一年生とのギャップ。この背景には中学一年生になった途端に教科担任制に変わること、つまり小学校時代の学習内容から急に変わるということ。そして、内容自体



授業風景 (T・T教育)

議員

小学校は中学校の学びを意識せずに教え、中学校は算数の九九ができない生徒を小学校のせいにする。十歳の壁いわゆる小学校五年生の時期、小数点、分数の掛け算、割り算、この辺が習熟していないと中学・高校になってまでも数学がわからないとなります。町ではどのような対策をとられていますか。

吉田教育長

御指摘のとおり掛け算、割り算、これが一番中学校になってから本人達が困ることです。一回つまり、どうしても中学校に行つてからは次に進めないようになります。対策としてマンツーマン、T・T教育を導入しています。



にこここ学習

※にこここ学習とは…
毎週月曜日、朝の時間に計算・漢字などの基礎学習を行っています。

◇ほかに
・小中連携教育について。
・インフルエンザ対策について。

平成22年度予算は

答 ホリカワ跡地返済の目途立たず



原 禎 和彦 議員

北島企画課長

国、県の動向が未確定のため、現行制度での編成。町財政の健全化は緊急の課題であり起債は極力抑える。事業は、より一層の経費削減に努めることを基本方針としています。

歳入増については、保育料の見直し、ごみ袋の価格引き上げを今回議案として提案しています。

削減については、まだ四課の査定ですが、緊急改革プランから五年経過してきますので、必要でない物の要求はあつていません。

議員

平成二十年度決算で百一億四千二百万円の未償還金がありますが、財政再建に向けた償還計画は。

北島企画課長

災害時の緊急的な起債の活用はあると考えるが、基本的には、現在の償還計画で返済していくことになりません。

議員

予算編成の基本方針は。

また、歳入増対策・歳出削減はどう取り組むか。

議員

平成二十二年度に「財政再建計画」を作る考えはありますか。

武廣町長

今、財政検討委員会で議論の整理をしています。来年度町民会議などを開き、その中での一つの案として総合計画につながる案を作っていければと思つています。

議員

平成十八年に借り入れた二億七千万円のホリカワ産業跡地の償還期限が平成二十三年三月末に来るがこの処置は。

武廣町長

いまだに企業誘致が出来ていません。借り換えを考えて働きかけていますが、見通しも立っていないのが現状です。

議員

農業集落排水の事業所使用料を従量制に見直しを検討されていますが、進捗状況は。

江崎建設課長

現在、各事業所の排水などの調査を行い、また他市町の使用料を参考に町としての試算をし、平成二十二年予算に計上したいと考えています。



ホリカワ跡地

ごみ処理施設の負担金は

答 広域で三千万円以上増額の見込み

議員

住友金属との運転委託費が決着したかと思えば、今度は、みやき町の合併に伴い均等割り負担金の増額が発生しているが、ごみ処理施設の負担金はどうなるか。

鶴田住民課長

住友金属の運転経費が平成二十二年度は五十日で百三十八万千円、平成二十三年度以降は一千三万円の増額が見込まれます。また、みやき町の合併に伴う増加分が千三百五十万円となります。

武廣町長

ごみについては、平成二十二年で千四百八十万円、広域の介護で千八百万円ほど負担が増える見込みです。町の財政が厳しいので、極力負担が増えないように努めていきます。

請願の進捗状況は

議員

地域住民がどうしてもこれをしていたら、お願いを込めた請願が多数あります。

で、他の水路整備は、農業農村整備事業で対応していきたい。

渡邊産業商工課長

江迎幹線水路は、土地改良施設維持管理適正化事業

江崎建設課長

道路整備は、基本計画を作成し、補助事業で進めたい。

町政の改革項目・日程の工程を示せ (ロード・マップを)

答 いまのところありません



松尾 仁 議員

町の広報・広報誌について、どのような認識か

議員

改革のため、各種検討委員会、町民などを交えた諮問会議など多数あるが、これらの目的、いつまでにとどのようなことをまとめるのか、町民にわかるよう工程表にして示していただきたい。

武廣町長

四年の任期のなかで、公約などを実現したいので今のところ場当りの対応となっている。改革の工程表はいまのところありません。

議員
施政方針にも町の広報誌を使い、情報の公開、開かれた町政を目指すことされたが、現状は、隔月発行のうえ、内容も御粗末である。ある町民から、書面で、編集者不在のようで、回覧板状態、これまでの施策なり成果なり今後の展望も含んだ課題とか、特集記事を組める行事とかないのか。他の町の広報誌を参考にしたら！この際あらためて、広報とは何か、広報誌と町民について、原点に立返って見直すべきであると、叱責指導の励ましをいただいた。広報誌を、毎月発行にす



各町広報誌

るための費用は年間約九十六万円であるが、昨今は誌面とか町の領収証に広告を掲載し収入増を図っている。当町もこれらの施策をとり入れ町民各位に、誠意をもって広報に務めるべき。

議員

課の統廃合は考えられるのか。特に人員削減も視野にあるのか。

武廣町長

行革検討委員会で、議論を重ねているが、削減を考へざるを得ない。

庁内機構改革の方向性は

武廣町長

ない袖は振れない。インターネットとか、他の媒体を使うことを考えている。

財政再建の指標
経常収支比率は

議員

平成二十二年の経常収支比率は一〇〇%を超えないか。

北島企画課長

現段階で正確な数字は不可能ですが、我が町の経常収支比率は、平成十九年度が九九・一%、平成二十年度九六・二%となっており、今いろいろ償還とか考えらるると九九%前後で推移するかと考えます。

◇ほかに
・記者会見などで発表したことに説明責任は果せるのか。
・今年誕生した若年市長の施策など参考にしているか。
・ボランティアの活用を考えているか。
・町長給料の減額に関連し報酬、給料の削減は考えられているか。
・予算編成の要点は。



漆原 悦子 議員

学校給食の現状は

答 平成22年4月より食材は町で対応

議員

九月議会後の学校給食進捗状況はどうなっているか。また、来年度より全国学力テストを、文部科学省が抽出方式に変える方針を打ち出していますが町の考えは

大隈教育課長

鳥栖給サービスで食材購入をする契約締結がされていますが、当町との考えに相違があり、これ以上上峰町の理解を得る食材などの購入は難しいとの判断で、



給食準備風景

契約解消の申出書が提出されました。この件で、九月

に特別委員会、十月に学校給食運営委員会で審議し、民間委託前の形にもどして町で対応していくと決定しました。現在、従前の十三業者に食材納入の打診をしている所です。次の段階として再度、委員会に諮り来年の四月からの実施に継ぎたい。十月に実施した区長会の試食会では、美味しいとの評価でした。

鶴田教育次長

全国学力テストは全員参加でお願いしたいと町は考えています。県の対応も全員参加で要望されている状況です。

吉田教育長

平成二十二年度から変わる予定ですが、抽出されなければ、町の自己負担で実施しなくてはいけませんので、結論を出していないのが現状です。



上峰児童クラブ

町財政改革

答 プロジェクトチームを立ち上げ臨機応変に対応する

議員

機構改革・マニフェストに基づいた町政改革は進められていますか。また、来年度から七十一名以上の大規模放課後児童クラブへの国庫補助がなくなり、四年生以上の受け入れの考えはありますか。

武廣町長

数値・期限が盛り込まれたマニフェストではないが、プロジェクトチームを立ち上げ、臨機応変に対応していきたい。現在、係長を中心に財政改革検討委員会で取り組んでいます。五〇%給与カットは私個

人の削減ということで、予算を基にした議論の中で、歳入欠陥分を埋める減額ではありません。

放課後児童クラブ事業の四年生以上の受け入れは、住民の望む施策を行っているという視点で検討させていただきます。

行財政改革の方針は

答 全て合理化・効率化



議員 松田 俊和

議員
行政の合理化に対する改革の手段は。

江頭総務課長

大変に求められている状況にあり、全ての面で合理化・効率化に努めていかなければいけないと感じます。

議員

部署の統合性の考えは。

江頭総務課長

統合する必要が若干あり少ない人員で少ない部署での対応が必要でないかと考えています。

議員

財政の健全化に対する対

策は。

北島企画課長

一、なお一層の財政改革を断行すること

二、簡素で効率的な事務執行体制へ移行すること

三、事務事業の効率化による歳出削減に努めること

四、財源確保対策を検討し実施していくこと

五、公債費抑制に結ぶ投資的経費は極力抑えること

六、建設事業に関し、緊急性、有効性および効率性を十分に考慮すること

以上を心がけ、将来に夢と希望が持てる財政構造への転換を図りたいと考えています。

議員

来年度予算編成の目度は。

北島企画課長

経常経費が九九%近くあり、できる限りできるところから少額ずつでも歳出を削減して実行する手段を考えています。

健康増進対策は

答 受診勧奨に努める

きたい。

江口健康増進課長

国民健康保険に加入されておられる方で、四十歳から五十歳までの男女の方の受診率が非常に低いので、保健師が未受診者宅に訪問、また、受診案内の個別発送、医療機関の紹介、広報車での勧奨など、受診率向上に努力しています。

施設補強作業は

議員

小学校ナイター設備における補強作業の進捗は。

鶴田教育次長

十二月二十五日までが委託契約期間となっております、予定として平成二十二年二月までには、完了したいと考えております。



健康診断



筋力トレーニング

議員

小・中学校の耐震補強工事の進捗は。

大隈教育課長

明許繰越手続を国へ申請し、許可がおりた段階で実施予定で、平成二十二年の夏休み期間中を計画しております。

議員

学校のグラウンド・校庭芝生化実施の考えは。

吉田教育長

相反するメリットとデメリットの結果を踏まえており、維持管理費などを含め今後前向きに検討します。

ホリカワ産業跡地について 努力されたか

答 企業誘致に向けて努力



井上 正宣 議員

議員

五回目の質問です。一年間どのように努力されたか、ホリカワの問題は町の一番の重要案件として町長はじめ全職員で努力すべきでは

ないか。県の振興課とか東京事務所などにお願ひするだけでなく自分から足を運んで説得をし、誘致に理解をしていただくことも重要で、殿様稼業みたいにじつと待ってれば解決できるものではないと思うが。

北島企画課長

跡地の売却については、以前より企業の誘致活動を行ってきたています。具体的に、県が発行している企業誘致ハンドブックへの掲載、県および町のホームページへの掲載、県の首都圏営業本部で町の企業立地の案内冊子をPR活動として配布しています。

武廣町長

今後については、二億七千万円の借りかえの願いをさらに進めるとともに、企業誘致に向けて努力していくことしかないと考えています。

町の活性化と各種イベント の中止とは

答 財政状況をみながら

議員

これから五年間、財政的な展望は、各種イベントを中止の方向で考えていると聞いているが。

北島企画課長

債務が多額で今後五年間は厳しい財政運営が続くと考えています。

鶴田教育次長

平成二十二年予算については、町民体育大会、文化祭など、一応予算要求をしていますが、企画課長が申し上げたように非常に展望が見えないという事で、今後の財政の査定、あるいは町長査定になります。町民体育大会の平成二十年度決



町民体育大会

算では約七十九万円、町文化祭については町費として約四十八万五千円です。

岡福祉課長

敬老会については総額十五万四千円を支出しています。

武廣町長

各種イベント、町民体育大会、文化祭を含めて、大変世相が厳しい中、町民が一堂に会する催しは、本当は実施したい気持ちです。それも財政の状況を見ながらです。

議員

各種イベントを中止の方向であれば、各種団体のトップの役職の皆さんと話し合いがされたのか、方法論はないのか、アイデアはないか、予算がないから中止では町の活性化はない。

北島企画課長

予算査定して、最終的に中止の判断をされることに近づいた時には、多分、町長が話をされると思います。

国際交流は必要か、 必要でないか

答 子どもたちの交流は必要

北島企画課長

国際交流推進委員会の中では継続したほうが良いという意見が大勢でした。ただ、財政的な諸問題で今までのようにできない場合でも子どもたちの交流だけでもぜひとの意見。

江頭総務課長

国際交流の必要性は皆さん十分認識されていました。子どもたちの将来を見据えたとき、ぜひ継続しなければならぬと私も思います。

詳細は議会議事録をご覧ください。

平成二十二年当初予算編成の基本方針は

答 行革・検討委員会の内容は三月定例会へ上程



議員 岡 光廣

議員

組織の改編・統廃合については、議論を交し平成二十二年三月提案していくと言われていますが、人員減に対する職員教育の進め方は、

江頭総務課長

平成十八年度から町の行政改革プランに沿い改革を進めてきています。職員の不補充・定数減の中で複雑化する行政需要に対応するために検討委員会を立ち上げており、職員処遇の問題、法整備などに取り組んでいます。

町長は信頼と実行力が必ずと言われています。課の統廃合・管理部門の再編成をしていくと施政方針で述べられ、進展していないようですが。

武廣町長

行革の検討委員会が十二月一日付答申があり、課長を中心に検討していただき平成二十二年三月議会に上程していく。

議員

予算の基本的考えは前年同程度「三十億」査定に入っていると報告されていますが予算編成の全てゼロベースの考えは。

北島企画課長

予算編成要領を定め要求は年間予算とする。国・県

の動向が未確定のため、現行制度を前提とし財政健全化が緊急課題であり起債の活用は抑制していく。

江崎建設課長

中期財政計画に組み入れている坊所地区機能強化事業は平成二十三年度から計画。使用料の見直しは平成二十二年度に計上している。

渡邊産業商工課長

機械利用組合・集落営農組織から買いかえなどが出てきたときは、町費が伴わない事業へ誘導していく。

大隈教育課長

国際交流事業については平成二十二年要求し、査定を受ける。

鶴田住民課長

予算編成に従い、「保育の

徴収基準」の検討・廃棄物の処理及び清掃に関する条例(ゴミ袋販売代金の改訂)の改正を議案上程。

原田文化課長

「米倉文庫」の目録整備事業を佐賀県緊急雇用創出基金事業を活用して予算計上。

白濱税務課長

税徴収関係で徴収員の確保を要望している。

議員

予算編成は総合的にどのように進められるのか。人件費・広域負担金・償還計画・委託管理費は。

江頭総務課長

特別職・職員については通常額で要求している。

北島企画課長

ホリカワ金属跡地の償還計画は県の市町村課を通じて許可をお願いしています。

武廣町長

ゴミ処理場・広域負担金の問題は首長会でしっかりと議論をしていきます。ホリカワ金属跡地の借りかえは現時点で難しいが交渉を続けていきます。企業誘致に向け積極的に働きかけます。



企画課

議員

総合政策諮問会議の進展状況は。

武廣町長

平成二十二年までには財政計画を。健全計画は財政の改革検討委員会で作っていく。

議員

行財政再生委員会の発足は。

武廣町長

名称を「上峰町改革会議」に変更する。平成二十二年四月計画。

議員

合併に取り組む姿勢、進捗状況は。

武廣町長

合併は進める方向です。「すぐにできるものと安易な考え」がありました。アンケートはとりたいたと考えています。

健全財政に向けて行財政改革は

上峰町改革会議に名称変更しスタート

答

町内探究 (シリーズ・八)

船石

船石 大字堤字船石

切通川の水源に近く船石という集落がある。天満宮の境内に古墳の石槨が露出している。伝説では神功皇名が朝鮮からの帰路此処に上陸され、乗船が石になったという。偏平な巨巖で船型をしている。これが集落

名の起源で船石である。その東に亀石、船石の南に鼻血石、その東に碓石と此処にも四個の石がある。鼻血石に乗ると、たたつて鼻血が出るといわれる。これもまた一つの霊力信仰である。

(上峰村史 抜粋)



船石



鼻血石



亀石

議会活動としての行事

		1 松田 俊和	2 原植 和彦	3 松尾 仁	4 漆原 悦子	5 中山 五雄	6 矢動丸博文	7 井上 正宣	8 伊東 盛雄	9 岡 光廣	10 吉富 隆
小学校運動会	10月4日	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
自衛隊創立記念行事	10月18日	△	×	×	○	×	×	○	○	○	×
県部落解放会館記念講演会	10月20日				○			○		○	○
町文化祭	11月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上峰町をよくする会との懇談会	11月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青少年健全育成大会	11月17日	○	△	×	○	×	×	○	○	○	○
ひよ子保育園お遊戯会	12月5日	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○
おたっしや館もちつき交流会	12月20日	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
同和問題市町講座	12月22日	○	○	○	○	※	※	△	○	○	○

○は出席 ×は欠席 △は別公務 ※は病欠

あとがき

新年あけましておめでとうございます。ご家族様お揃いで新年をお迎えになられたことに心からお慶び申し上げます。今年こそは、景気も上昇し、一日も早く安定した社会に近づくようお祈りしたいものです。

「安心・安全な町づくり」の強化で「住みやすい町・上峰」を目標とし、町民のみならず、地域一体となり、町づくりを続けていきたいものです。

広報委員会は定例議会終了後、翌月発行のため委員一丸となり五、六回の編集作業を頑張っております。

本年も皆様へ、親しみ易く、読み易いを念頭に編集してまいりますので皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

よろしくお願いたします。

議会だより

広報編集委員会
 委員長 漆原悦子
 副委員長 松田俊和
 委員 井上正宣
 委員 松尾仁
 委員 原植和彦